

済生会今治病院の呼吸器内科の専門医、加藤高英医師が咳の原因や発症からの時期などを教えてくれました。



例えば①の多くは気
道感染症、いわゆる「風
邪」や「肺炎」です。い
づれに「非感染症」の割合が
増えてきます。夜間々

会に。現在お悩みのその咳、もしかしたら止められるかもしれません。あるいは何か重病が隠れているかもしれません。気になる方は、ぜひ一度、受診してみてください。

ますが、重症化しなければ3週間以内に治ることが多いです。一方熱や倦怠感は改善したのに、咳だけがずっと残ることがあります。

レムギー？、胸やけや前傾姿勢による悪化？逆流性食道炎？、蓄膿の合併（副鼻腔気管支症候群？、喫煙歴（COPD・肺がん？）など、

残ることがあります。

PD・肺がん?) など、

必要に応じて各種検査を追加して診断を進めます。各疾患の詳細に関しては、また別の機

济生会今治病院

☎0898-47-2500

